



令和6年度 大宝小学校 学校だより

第12号

1月24日(金)発行

名古屋市立大宝小学校

TEL 682-6138

HPアドレス <https://www.nagoya-c.ed.jp/school/taiho-e/>

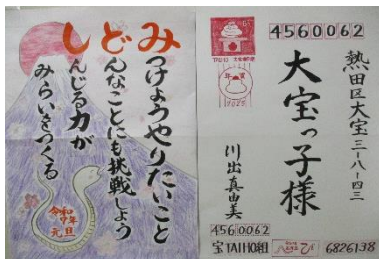
健康に気を付けましょう

暦の上ではまもなく春を迎えますが、まだまだ厳しい寒さが続きます。また、インフルエンザなどの感染症も流行しています。寒さや病気に負けず、健康な体で過ごすために、バランスのよい食事と十分な睡眠、適度な運動などをしっかり行い、予防に努めたいものです。

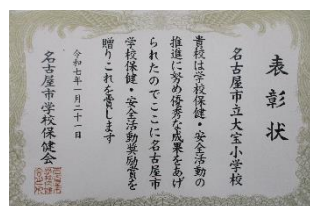
学校教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、来年度の計画を進めてまいります。結果は3月にお伝えいたします。

< まゆみの部屋 >

2025年は乙巳(きのとみ)。「今までの努力や準備が実を結び始める年」と言われています。脱皮するヘビのように、次のステージへ進んでいく大宝っ子の成長が楽しみです。今年もよろしくお願いいたします。



【 学校保健安全優良校 奨励賞受賞！ 】



子どもの心身の健康を守

ることは学校の大切な役割です。毎年、全校の検診結果や学校保健の取り組み等を名古屋市へ報告していますが、今年度「名古屋市学

校保健・安全活動 奨励賞」をいただきました。

学校の努力だけでなく、保護者の皆様のご理解・協力や、学校医さんのご指導が認められたからこそそのうれしい結果です。今後とも子どもたちの健やかな成長のために頑張りますので、よろしくお願いいたします。

【 「助けて!困った!」が言える子どもに! 】

『子どもからの「困った」「助けて」の声が少なくなっている』新聞でそんな記事を見付けました。確かに、その場ですぐ解決できそうなことでも、保護者からの連絡で知られることが増えました。時間が経ち、問題が複雑になってからのこともあります。「親や先生の前で、いい子であり続けるために弱音が吐けない」が理由の一つとして上げられていました。失敗や間違いをするのが子ども。そこから学ぶのが子ども。でも、最近それを怖がる子どもが多くなっています。コロナの影響で、色々なことに挑戦する機会や友達との関わりが制限され、失敗やトラブルを経験するチャンスがなかったことも、原因にあると思います。

学校は、何度も失敗やトラブルにであい、自力で解決する力を身に付けていく場です。子ども自身が「困った・助けて」が言えるように、乗り越えられるように、声を掛け、励まし、見守っていきたいと思います。保護者の皆様との連携が不可欠です。ご協力よろしくお願いいたします。

2月行事予定

3日(月) 自動払込日 教育相談月間
入学説明会10:00 (ふれあいホール)

4日(火) クラブ活動
3年クラブ見学会(下校時刻15:20ごろ)

7日(金) たんぽぽ・すみれ:きらめき展見学(給食)
スクールカウンセラー来校日

11日(火) 建国記念の日

12日(水) 6年校外学習:明治村(弁当)

14日(金) 5年たんぽぽ・すみれ校外学習:
レゴランド(行事食)
スクールカウンセラー来校日

18日(火) 委員会活動

19日(水)~21日(金)

全学年5時間授業14:20ごろ下校

19日(水) 2・6年・たんぽぽすみれ:

5限授業参観、6限学級懇談会

20日(木) 1・3年:5限授業参観、6限学級懇談会
学校評議員会

21日(金) 4・5年:5限授業参観、6限学級懇談会
スクールカウンセラー来校日

※授業参観・学級懇談会については、後日配布する案内をご覧ください。

23日(日) 天皇誕生日

24日(月) 振替休日

25日(火) たより配付

28日(金) スクールカウンセラー来校日

熱田区児童生徒造形作品展

熱田区児童生徒造形作品展の巡回作品が1月17日(金)から1週間、大宝小学校で展示されました。大宝小からも、各学年で1点選ばれた児童の平面作品が展示されていました。休み時間や図画工作の授業の時間に、絵を鑑賞している児童の姿がたくさん見られました。



雪遊び

1月10日、名古屋に久しぶりに雪が少し積もりました。「みんなで雪を楽しみましょう」と放送が入ると、「ワーッ」と大歓声が各教室から響きました。業前の時間に外に出て、サクサクと雪を踏んだり、雪を集めて雪だんごを作ったりして思い思いに雪を楽しみました。



2年：町たんけん

2年生が学区にあるお店や公共施設などを探検しました。「こんなことをぜひ聞いてみたい!」と、一人一人が熱心にインタビューしていた姿がとても印象的でした。マナーを守って見学し、お世話になった方に、きちんとお礼も伝えることができました。



学校努力点

自分の学びは、自分で決める

～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の推進～

1年 いっしょにあそぼう(生活科)

幼稚園や保育園の園児たちとの交流会に向けて、どんなことができるかを考え、楽しく一緒に遊ぶことができるおもちゃ・ゲーム・楽器などを作りました。同じおもちゃを作るグループ同士で相談し合いながら、壊れないように丈夫に作ったり、けがをしないように安全面に配慮したりして準備を進めました。振り返りの時間では、「見つけた」「気づいた」「くふうした」「もっとやってみたい」などのカードを利用して、本時の活動について考えることができました。



6年 未来のわたし(図画工作科)

未来の自分の姿を考え、就きたい職業や目指す人物像を想像し、輝いている瞬間を思い浮かべながら、立体作品を製作しています。「どんな活動をしているか」「どんな体の動きがあるか」など、より具体的にイメージするために、細部を本やインターネットなどで熱心に調べながら製作している姿が見られます。自分のよさを生かして、「こういう職業に就きたい」「こんな自分になりたい」という願いや思いはキャリア教育にもつながっています。この6年生の作品は、2月の授業参観時に展覧する予定ですので、ぜひご覧ください。



6年 戦国の世から天下統一へ(社会科)

「信長と秀吉は、どちらが天下統一の働きがより大きいか考えよう」というめあてを立て、自分の調べたい視点を基に、調べ学習を行い、考えをまとめました。グループごとのプチ戦(討論会)では、「信長軍」「秀吉軍」「革迷(どちらか迷っている)軍」に分かれて、自分の考えを支える根拠(データや資料)を用いて熱心に討論し合う姿が見られました。調べ足りないところを討論で指摘されて、さらに詳しく調べ直したり、相手の意見を聞いて、「もっと知りたい!」と探究し続けたりする児童の姿が見られました。



全学年 ほっとタイム(安心して学び続けることができる学級づくり)

「自己選択・自己決定」のある学びを進める上で、児童同士が互いの選択・決定を尊重するとともに、支え合い、認め合うことのできる学級づくりの基盤が必要です。学級の親和的な雰囲気づくりを進めたり、他者とのかわり、対話の方法や態度を身に付けたりすることにつながる、アイスブレイクや集団レクリエーション、サークル対話などに取り組む時間(ほっとタイム)を全学級、週1回程度、業前の時間などに設けています。

4月から継続してきたことで、学級の雰囲気が親和的になり、「頑張って自分の意見を発表してみよう」、「困ったことがあったら、友達に相談してみよう」という児童の姿が増え、安心して学べる学級づくりにつながっています。